



俺が
孕ませ
忘れるわけがない。

「そこのお兄さん
私たちのこと
見てましたよね」

「ねえ、私たちのおっばい
見せてあげるから
あんだのちんぽ見せてよ」

「うわ、ほんとにちんぽ
出してるw きもっ!」

「仕方ないなあ
ほら、おっぱい
見せてあげる」

「オナニーしたらどうですか
お兄さん、こんなチャンス
滅多にないですよ?」

「えい! 踏んじやえ
…うっ!、だつてw」



あーっ！

やだ、精液
飲んじゃった

わっ！

ちよつと
あんた何、勝手に
射精してんの！

はあ？

調子にのんな！
変態！



「気持ち悪いです
消えてください」と

「はあ？ あんたとなんか
ありえないんだけど」





くっくっく

ちんぽ

ちんぽんぽん

ちんぽ

ちんぽ

はぁ

あなたの...
ちんぽんぽん

ちんぽ

ちんぽ

はぁ



イキたい？

ぎゅ

もうイッちゃ
うんごすかマ

ロ

ぎゅ

ロ





はっはっはっ
あ
♡♡

いひひひ

ちゅちゅ

もっこ
もっこ
♡

ちゅ

ちゅ

ぐんぐん



また抜いて
あげるから♡

カチラー「おっ
Vieやうな♡

お兄さん

どうして
逃げるんですか？

私とHしたい
んですよね！！





「そんなこと言っ
て服の上からでも
おちんちん大きくなつて
るの分かつてるん
ですからね」
「女の子の口で……
してももらいたく
ないんですか」



あやせ、これ
やっぱりやばいって

んっ

しゅっ

ぶじゅ

んっ

んっ

んっ

んっ



ぽっ

ぽっ

ぽっ

と

びり

ぽっ

ぽっ

ぽっ

ぽっ



ぐわん

ぐわん

ぐわん

1P~

1P~



1P~

1P~



ぐわん



ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

1P~

ぐわん





わたし
赤ちゃん孕むまで

お兄さんのおちんぽから
精液しぼり取りますから

覚悟して
くださいね





「お兄さん、もつと
えっちしましよらう」





「エロゲーするだけだったで、
言ったじゃん！」

「はー！」









ふぁ

ぐわ

「もう、ぜつ……いたい！
あんたなんか
家に呼ばないから！」

「兄貴が帰ってきてくるから
早く帰ってきてくんない？」

プールにて

「人がいない穴場の海って
言ってたのに……」

「ここ市民プールじゃないですか!」

「めちやくちや人いますし
こここんなところで
どうやってHするんですか!」

「もう普通に、遊びますからね!」

「え? やだ、なに水着めくって……!」



(うそ……ここぞ?)

(桐乃や他の人が
いっぱいいるのに……)

(やっぱりこのお兄さん
ド変態じゃないですか!)

(……でも、今日はHする気で
来たから、我慢出来ない……!)



(んんうう……ああ！
私、市民プールで
H……しちやつた)

(男の人のちんぽ
挿入されてる……！)





(え？ なんてお尻の穴に
ちんぽ、あてがってるんですか？)

(押しつけないでください
女の子ですから、うんこ出ちゃう穴を
触られるのは、さすがに恥ずかしいです)

(……あ？ 嘘、ちんぽ
ぐいぐい押し込まれてる)

(入れようとしてる……!?)

(そこ違いますよ……!!
女の子の穴じゃ……!!)

(あ……あ……あ……)





(もう、ほんとに変態
パカなんじゃないですか！)

(でも、ちんぽ抜かれると
大きなうんちしてるとき
みたいに気持ちよかった
なんて……言えない)



「あんたのちんぽなんか
触りたくないから
足でしてあげる」



「こんなのが気持ちいいんだ
この変態チンポ野郎」

ドビュ

ハダッ



「はい、これで満足した？
今日は終わりね」



「何あんた、私と
えつちしたいんだ？」

お♡

「でも、今日は絶対ダメ
兄貴もう帰ってきてるし
私、声出しちやうから
あ！ だから…ダメだって」

お♡

お♡
お♡

お♡

あ♡

あ♡

ぬるぬる
ずるずる



あし、今こっち見てたっしょー！

おまわりさーん
変態がいますよー！



加奈子く、お金なくて
困ってんだ

お金くれんなら
見せてやってもいいよ



うげっ！
見せてやるって言ったけど
なんでちんぽ出して
シコシコしてんだよ

ガチの変態かよ！
人から見えちやうだろ！
あーもう早くしろよ！



うえええ！ ペっぺっ
何ぶっかけてんだよ
精子きめえ！

みなさん、
学生が
変態に犯されましたよー！

ちよ、逃げんな！
千円置いてけー！



「え、桐乃が
呼んでるんですか？
分かりました」

「今度の体育祭
勝てるといいですね」

「このチア姿で応援しますから
男子は頑張ってくださいね」





「Look! Look! Look! Stop... please!」

「あ」

ブッブ

ブッブ



「……ムリヤリなんて最低ですね！
この変態！ 犯罪者！
ちやんと告白くらいしてください」

「服着たままだからチアの衣装
汚れちやっただ
じやないですか！」





「桐乃、●●くんを
お風呂に入れてあげて」
「えー……うん」
(まあ、学生だしいつか)

ちよっ!?

●●くん、ダメ!

そこに入れちゃダメだって!

お姉ちゃんから離れよ? ね?







もっやだ!

はじめてなのに!

ヒョロ

ヒョロ

ヒョロ

ヒョロ

ヒョロ

ヒョロ

加奈子お、誰かさんのせいで
妊娠しちゃったんだよね♪



何まわりキヨロキヨロ
してんだよ！
おめーだよ、おめー！

加奈子にぶっかけやがって
周りの人に心配されたから
加奈子、学生なのに
AVの撮影ってことにしたんだぞ！



ってまた
オナつてやがるし
どんだけ加奈子のエロボディ
好きなんだよ

責任取れつつつてんだよ！
結婚だよ結婚！
お前の女にしるつて



ぷへっ!
まだ喋ってんだろ

そんなに元気なら
加奈子と一発やれよー!





「落ち着けつて！
そんなに突いたら
加奈子のおまんこ
壊れちゃうだろ♡」

どっえん!?

「あ、あ、あなたたち！
何してんの！」











「もうてめーは
加奈子の男だからな
ムラムラしたら
加奈子のおまんこ使えよ」

エロ可愛い女の子がいたの
遠目にちらちら見つつ
膨らんだ股間を触っていた
一瞬、三人と目が合った気がした

やばいと思ったときには、
徐々に二人がこちらへと
近づいてきて……

「ほら見ててあげるから
そのお粗末な物
しごいてみなさいな」

「あんな私たちのマユと
見てたでしよ？」





「うっわ、きも！
女子学生
の裸見て
ほんとにシ
ュッてるし」

「ほらほら
早くイッて
しまわないと
周りに気付か
れるわよ」



「ふふふ」

「ふふふなにこの量」

「洗い流す前に
人に見られてしまうわ」

「お風呂でしゃべると
お風呂でしゃべると」

とりあえず
おっぱい触って
逃げた

「あの…？」
「そんなに心配しなくても
いいんですよ、お兄さん。
痛くはないですから」
「さあ、力抜いてください」

ん♡

この後、お尻を
めちやくちやにされた



早くお尻の穴を
こつちに向けなさい♪

私の手を
突っ込んであげるわ



早くお尻の穴を
こつちに向けなさい♪

私の手を
突っ込んであげるわ



「これから何するか分かる？
あんたのケツ、穴に
このあたしの手を突っ込むの」

「学生女子で読者モデルの
あたしの手、価値が分かる？
キモオタなら泣いて喜ぶシチュでしよ
ほら、逃げんな！
逃げたらグーだかんね」



「ふひひひひ、どう？
気持ちよかつた？」

「ベッドで大人しくしてれば
また今度してあげるからね♪」





五更さんをつまえてみた

やはり可愛い



ちんぽを挿入してみる

気持ちいいようだ

膣内に射精した

小さな身体が
ビクビクとはねる



きつぎつの
アナルに挿入した

声にならない悲鳴を上げ
ガクガクと震えている





気持ちよくなつたようだ

そのままアナルに中出し





やが

ニムニムニムニム

ニムニムニムニム

ズッ

ズッ



カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

「聞いた？
新垣さんちの娘さん
行方不明らしいわよ」






「落ち着けつて！
そんなに突いたら
加奈子のおまんこ
壊れちゃうだろ♡」

どっえん!?









「あ、桐乃く
私たちのラブラブ
セックス見てかね？」

「あんたたち、また
こんなところで！
友達のH見るとか
ちよー気まずいっての」

●●くんのちんぽ汁で
私、妊娠しちゃいました♡





「お兄さん、もつと
えっちしましよらう」





「あの…？」
「そんなに心配しなくても
いいんですよ、お兄さん。
痛くはないですから」
「さあ、力抜いてください」

ん♡

この後、お尻を
めちやくちやにされた



「あなたとの赤ちゃん
早く産みたいです」

「名前は、なんて
名付けますか」

「ふふっ、今、
動きましたよ」









(もう、産まれたばかりのゆるゆるのおまんこに入れるなんて、やっぱりあなたは変態です！)

(……まあ、やるんじゃないかと期待して、いざ、思っ
てしてみましたけど)



(これからよろしく
お願いしますね)





あんたのせいで
妊娠したんですけど？

なんで会いに
来ないのよ……バカ









「学生を孕ませた責任……ちやんと取んなさいよ!」

ふぁ

ふぁ

妊娠した五更さんを捕獲

野に放したことを
少し怒っているらしい





アナルに挿入してみた

感じて
いるのが
悔しい
ようだ

出産間近の膣内に
挿入してみた

いつもより敏感に
なっているようだ





五更さんの出産を確認

一緒に住むことになり
責任取らされるようです





●●くんがいつぱい
中出ししちゃったから
お姉ちゃん
妊娠しちゃったでしょ！



ほら、焦らないで

あ

あ

お姉ちゃんの内に出しちゃってもいいからね？

あ

あ

パニ

パニ

パニ

パニ

パニ

パニ

パニ











もうHなんだから!

ヒッ

ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ

「聞いた？
新垣さんちの娘さん
行方不明らしいわよ」





んや
ん

ん
ん

んや
ん

ん
ん
ん
ん



「そのお尻さん
私と円なっとしてませんか？」
「本物の女子 ■ 学生ですよ」





びび

びびび

んあぁあー!

びび

び

びび

あ

びび

あ

びび

び

「本気で他の子を
連れてくれば
私とまだHして
くれるんですよね」

「モデルの親友がいるので
頼んでみます…だから」

「黒いの今日、暇？
一緒に来て欲しいんだけど」

「来てくれるだけで
いいから……
何もしない……から」

「…あ、あなたたち何を？」

「誰…誰だ、お前らや
痛い……」



ズポ

ビク

ズポ

ビク

グワ

グワ

グワ

グワ

グワ

ビク

ガク
ガク

ア

ズポ

ズポ





カッ
カッ

あぁ

ど

ふん

びしょ

びしょ

「あやせの後は
あたしだかね」







びびり

おは

おは

おは

びびり

びびり

びびり

30

しゃあ

30

30

しゃあ

しゃあ





「お願いよ
中出しは我慢するから
休ませてちょうだい」

どきどき

どきどき

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

どきどき

どきどき

どきどき

どきどき

どきどき

「わたしたち
お兄さんとの赤ちゃんを
妊娠してしまいました」

「あんだとの子供
産んであげるから
感謝しなさいよね！」

「ふふ、あなた
世界一の幸せ者ね」





「私、元気な子を産みますから
見守っていてください」

「あ、動いた！ ほら
あんたもお腹触ってみてよ
なに、ビビってんのウケるw」

「私が誰かと子をなすなんて
考えたこともなかったわ
……悪くないものね」



「私たちのこと
幸せにしてくださいね」

「あんととの子供……嬉しい。
また子作りしちやおつかか？」

「いらつしやい
もう一人くらい
あたとの子を
産んであげるわ」



「ほらお兄さん
今日の分のお乳ですよ」



「他の人のお乳を飲んだら
許しませんからね」



「あら、あなたもしかして
母乳が飲みたいの？」

「フフツ、こらやうに
こらつてやうに」



「いい大人が
夢中になつて」

「どつちが子供か
分からないわね」



「まだおっぱい出そう
なんだけど……
あ、あんた飲んでみる？」

「べべ、別に、
いやならいいんだけどさ」



「ちよつ、待つ…て!
もう母乳、出ないって」



赤ちゃんを抱いている
学生くらいの子が可愛くて
ちらちら見ていたら
服の隙間からぽろんと胸を出し
授乳しだして興奮した



やばい、目が合った

おっぱいに気を取られすぎて
目をそらすタイミングを失い
見つめ合ったまま
そらすにそらせない





結局、彼女の方から
目をそらしてしまった
すました顔をしているが
顔が赤くなっているのが分かる



照れてる姿も可愛いかった



























































































































